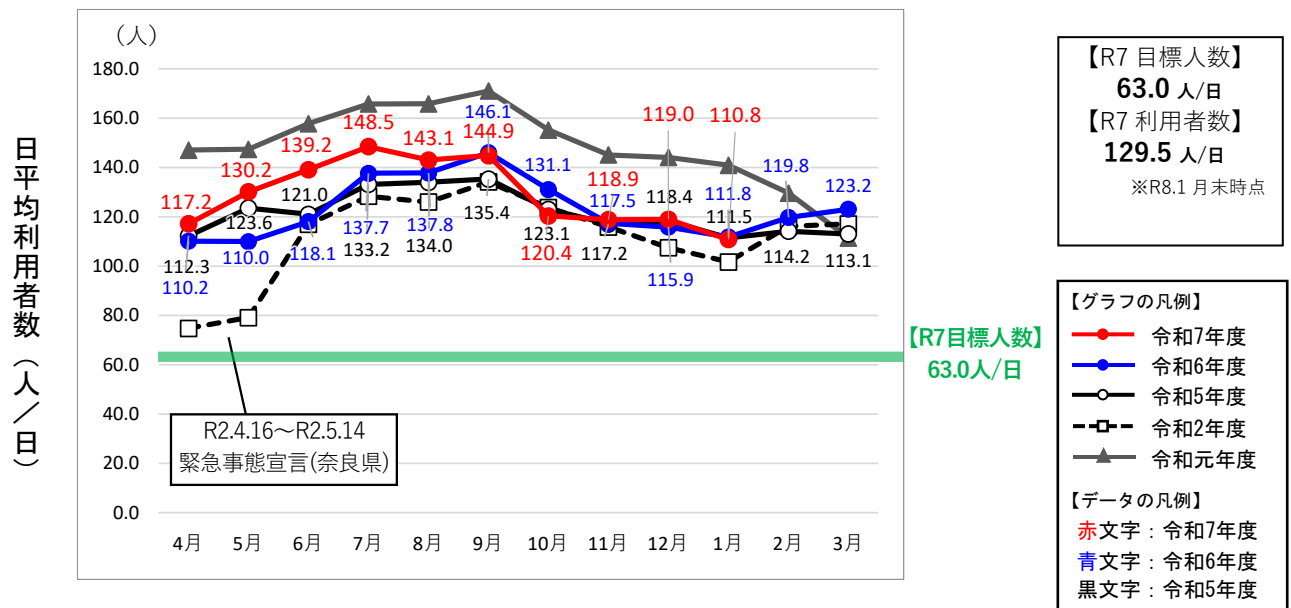


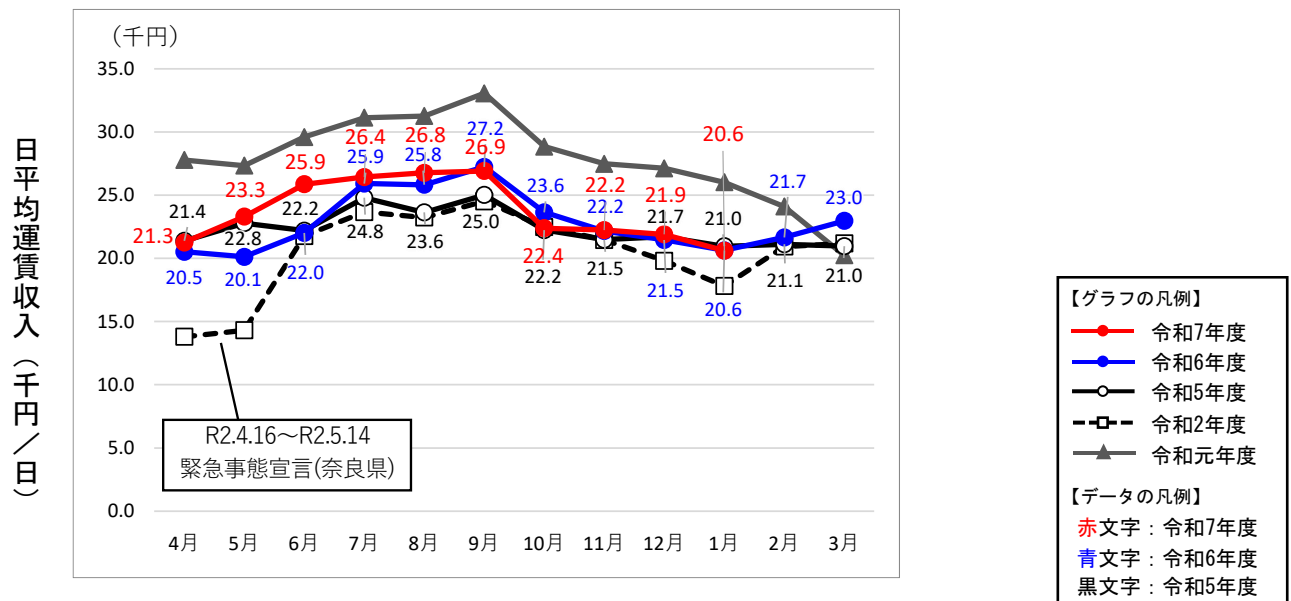
### 1. 光陽台線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、令和7年4月以降は7月にかけて増加傾向にあったが、7月以降は減少傾向にあった。令和8年1月は前月から減少し、前年同月と同程度である。
- ・運賃収入(日平均運賃収入)は、令和7年4月以降は9月にかけて増加傾向にあったが、10月以降は減少し、令和8年1月は前年同月と同程度である。

【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】

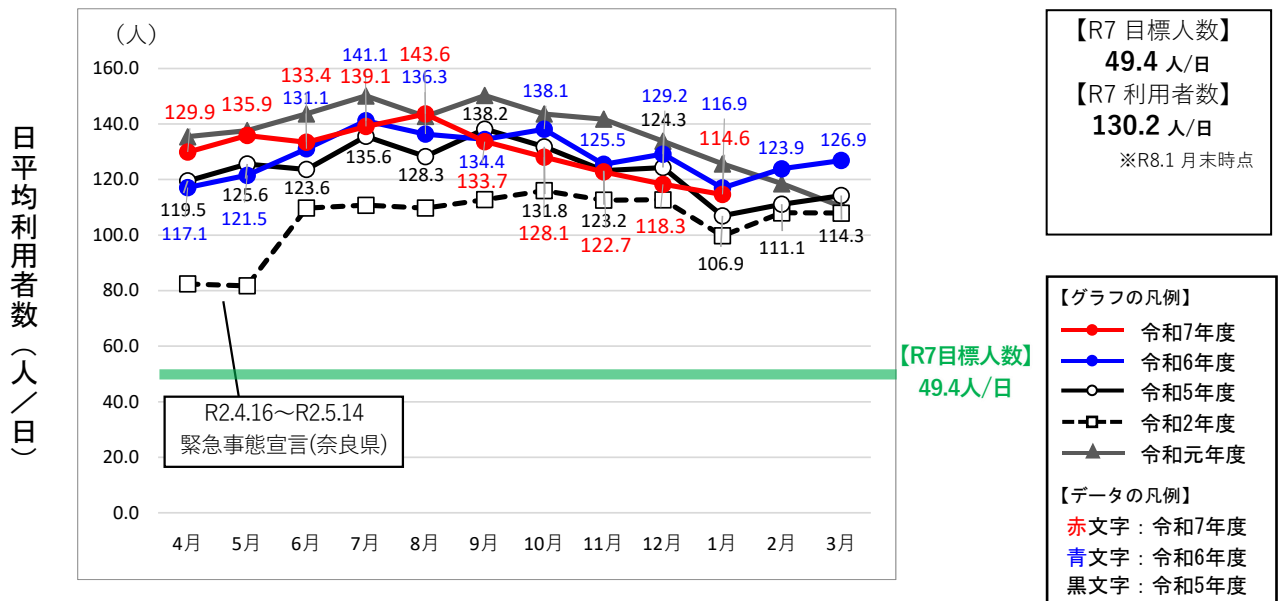


※運賃収入＝現金収入＋回数券（使った金額）

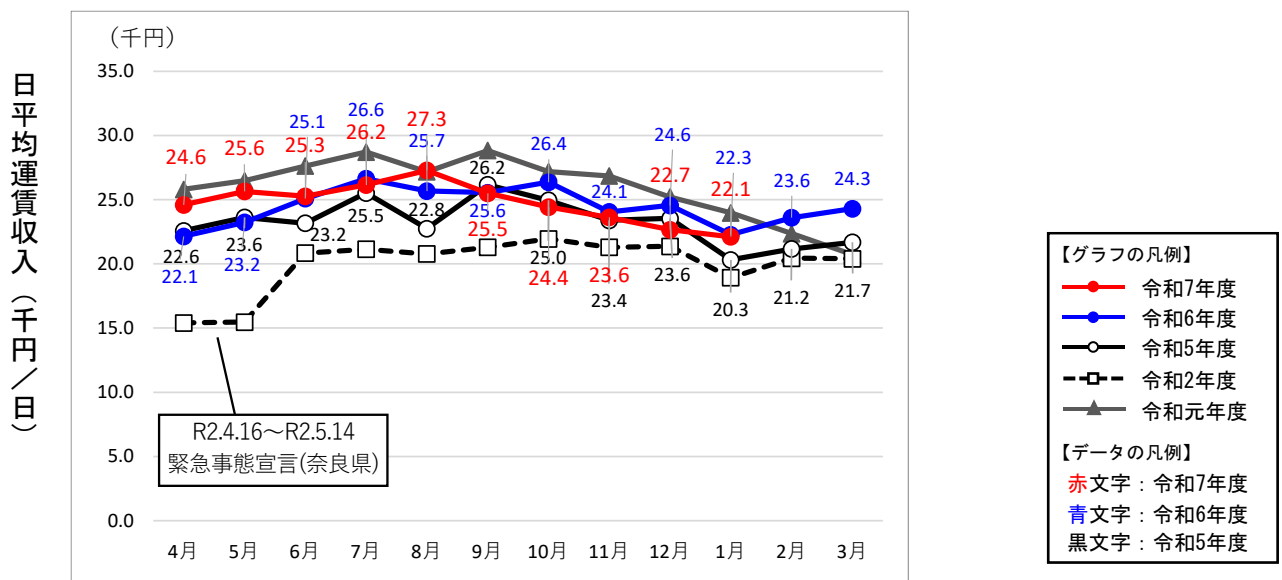
## 2. 門前線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、令和7年4月以降は8月にかけて増加傾向にあったが、9月以降は減少傾向にあり、令和8年1月は前年同月を下回っている。
- ・運賃収入(日平均運賃)は、利用者数と同様に、令和7年4月以降は8月にかけて増加傾向にあったが、9月以降は減少傾向にあり、令和8年1月は前年同月を下回っている。

### 【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



### 【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】

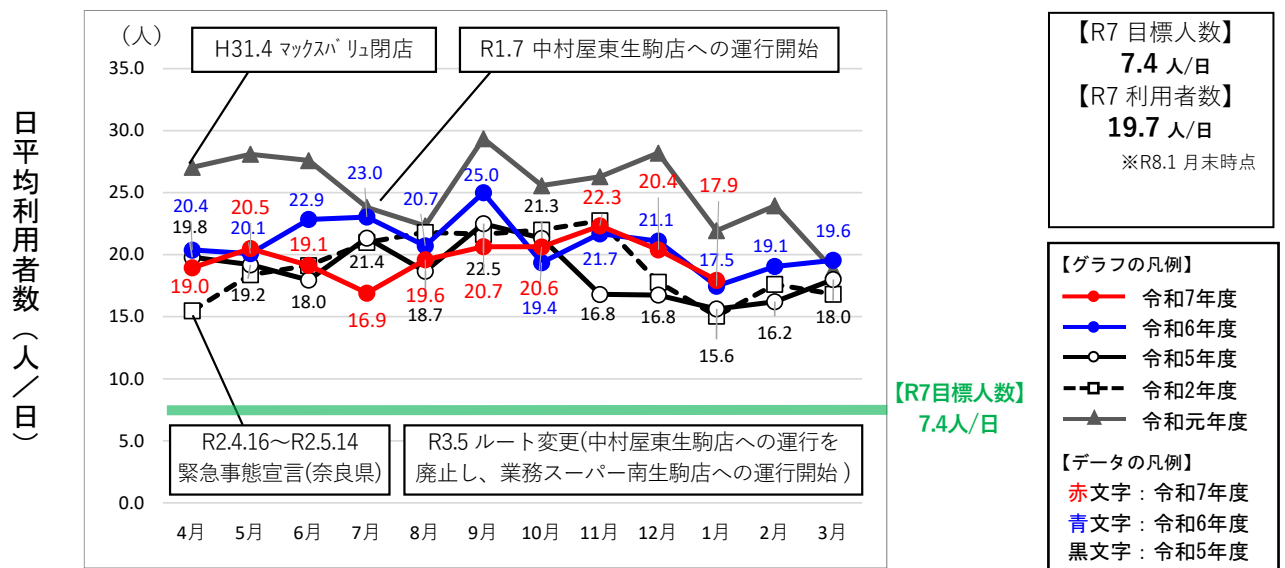


※運賃収入＝現金収入＋回数券（使った金額）

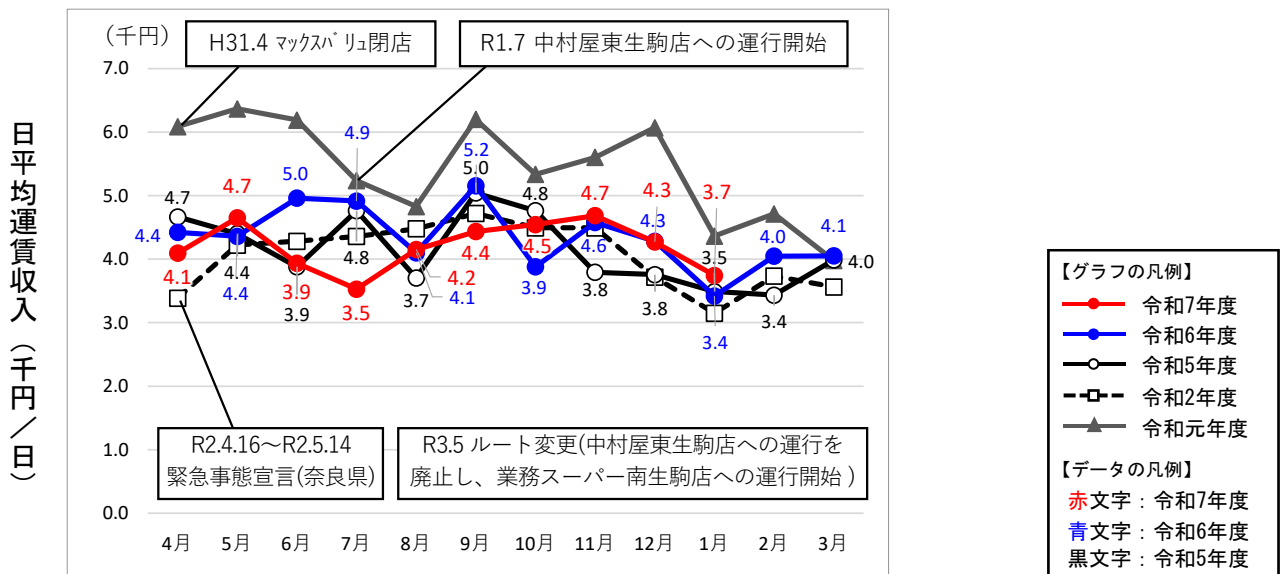
### 3. 西畑・有里線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、令和7年4月以降は、7月から11月にかけて増加傾向にあったが、12月以降は利用が減少傾向にあった。令和8年1月は前月から減少したが、前年同月を上回っている。
- ・運賃収入（日平均運賃収入）は、利用者数と同様に、令和7年4月以降は、7月から11月にかけて増加傾向にあったが、12月以降は利用が減少傾向にあった。令和8年1月は前月から減少したが、前年同月を上回っている。

【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】

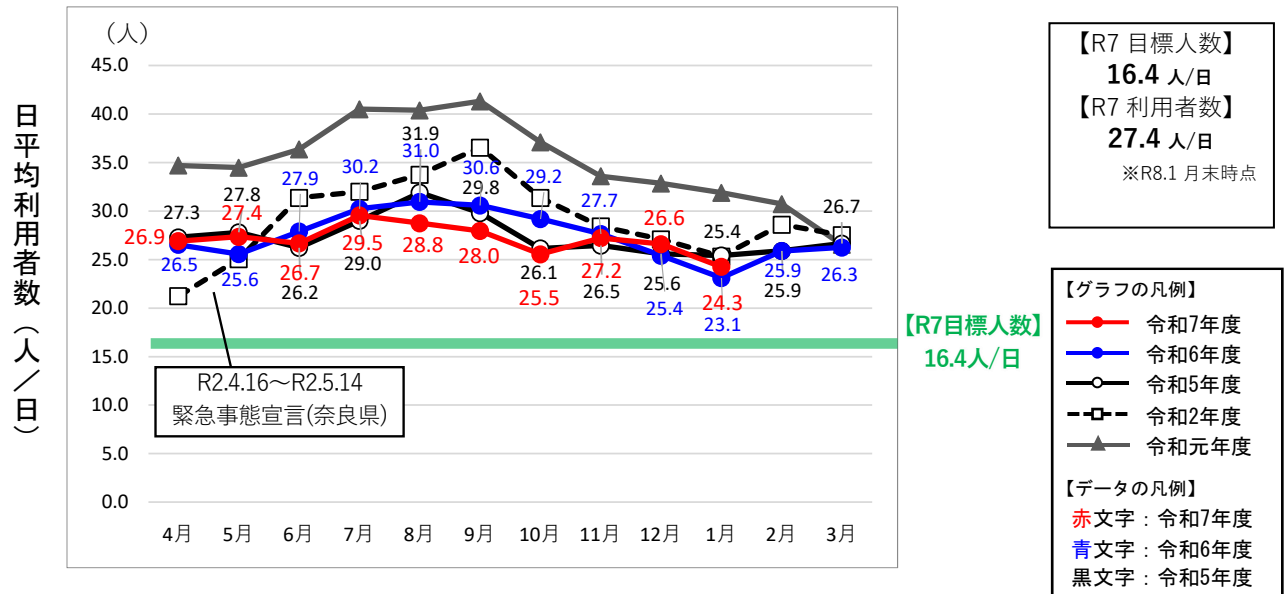


※運賃収入＝現金収入＋回数券（使った金額）

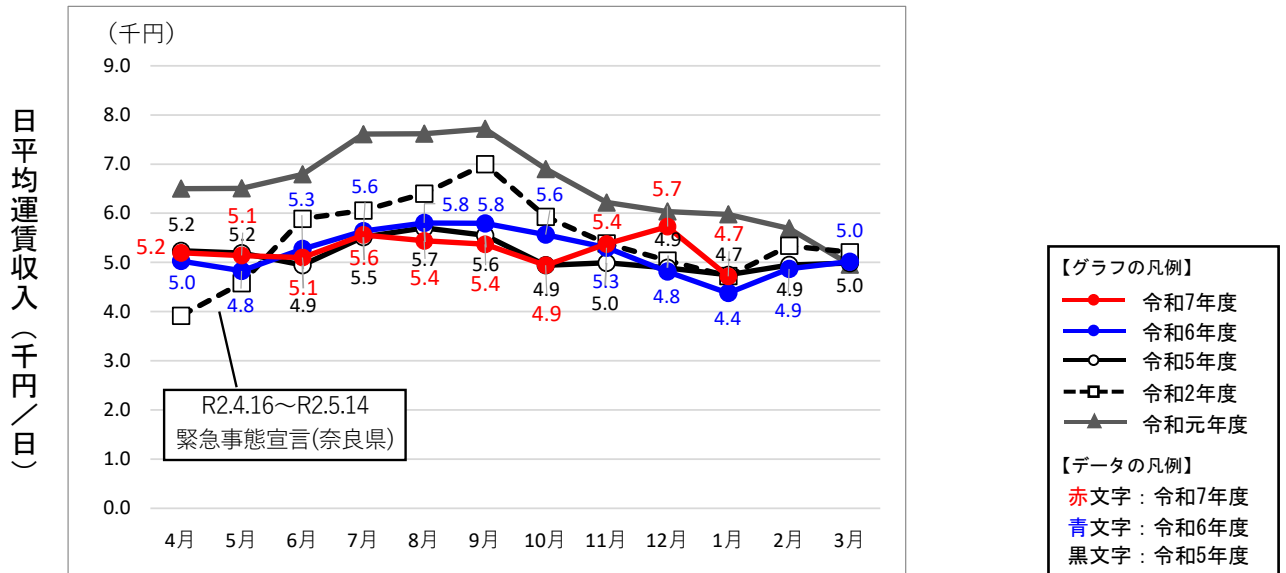
#### 4. 北新町線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、令和7年4月以降は、7月にかけて増加傾向、8月以降は減少傾向であった。令和8年1月は前月から減少しているが、前年同月上回っている。
- ・運賃収入（日平均運賃収入）は、利用者数と同様に、令和7年4月以降は、7月にかけて増加傾向、8月以降は減少傾向であった。令和8年1月は前月から減少しているが、前年同月上回っている。

【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】

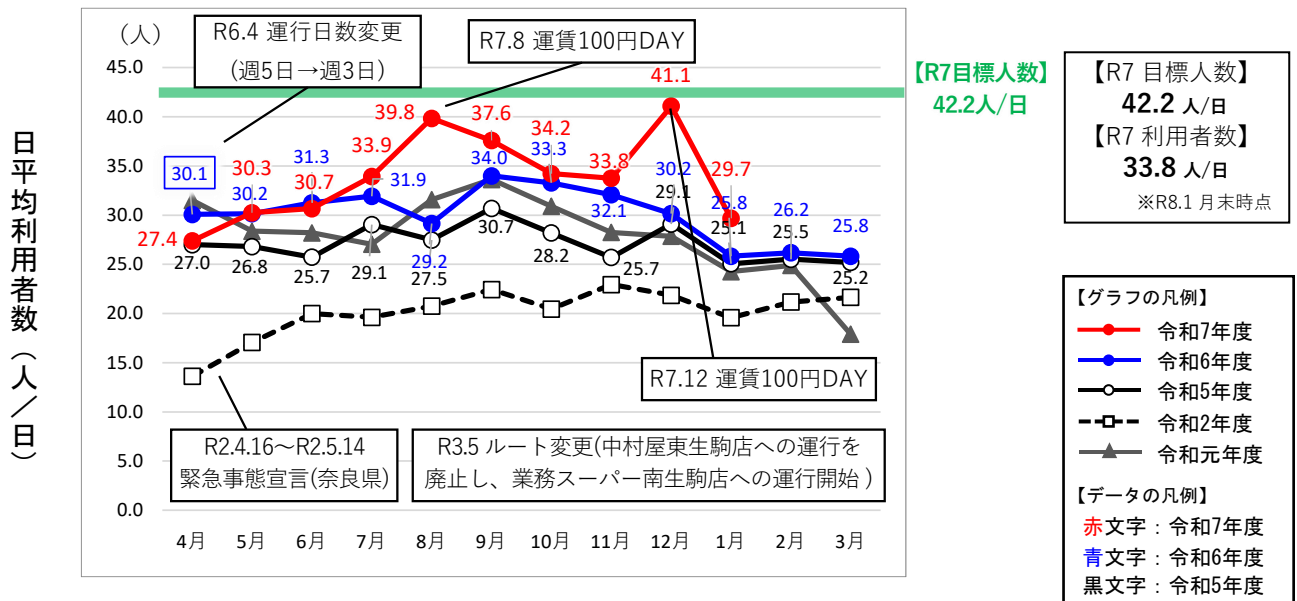


※運賃収入＝現金収入＋回数券（使った金額）

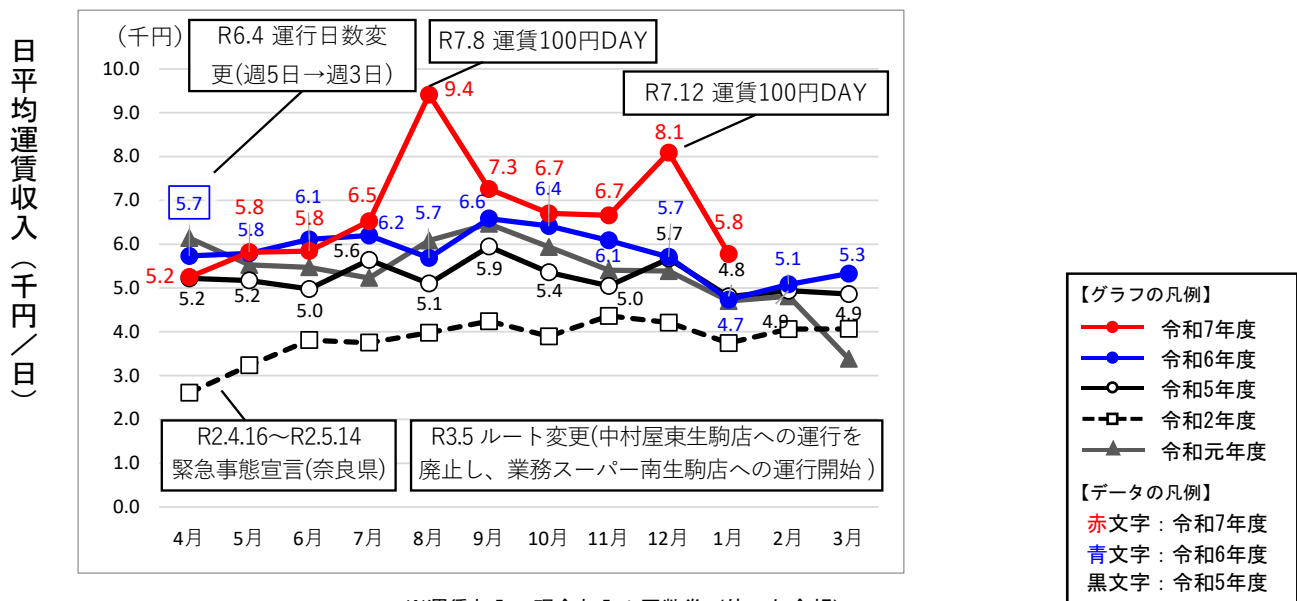
### 5. 萩の台線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、運行日数を週3日に縮小した令和6年度は、前年同月を上回っている。令和7年4月以降は増加傾向にあり、8月は運賃100円DAYを実施した影響で、令和元年以降で最も利用者数が多かった。12月も自治会負担により運賃100円DAYを実施しており、日平均利用者数が大きく増加し、令和8年1月は前月よりは減少したが、前年同月を上回っている。
- ・運賃収入(日平均運賃収入)は、利用者数と同様に、令和7年4月以降は増加傾向にあり、8月は運賃100円DAYを実施した影響で大きく増加した。12月に再度運賃100円DAYを実施したことから、日平均運賃収入が大きく増加し、令和8年1月は前月よりは減少したが、前年同月を上回っている。

【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】



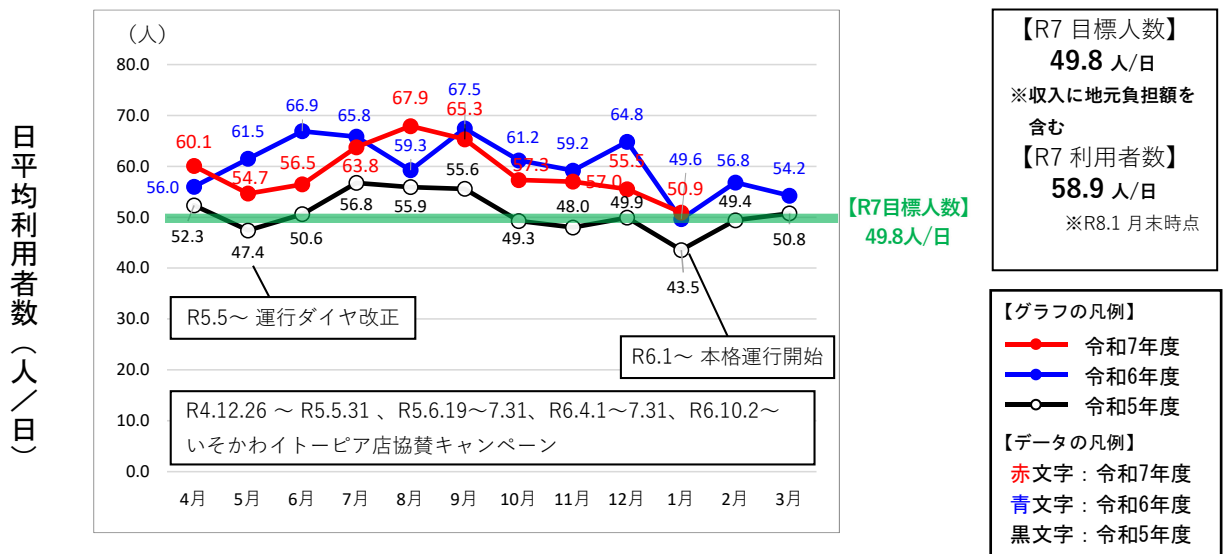
※運賃収入＝現金収入＋回数券（使った金額）

※R7.8月及び12月の運賃収入は、運賃100円DAYにおける自治会負担額を含めた額

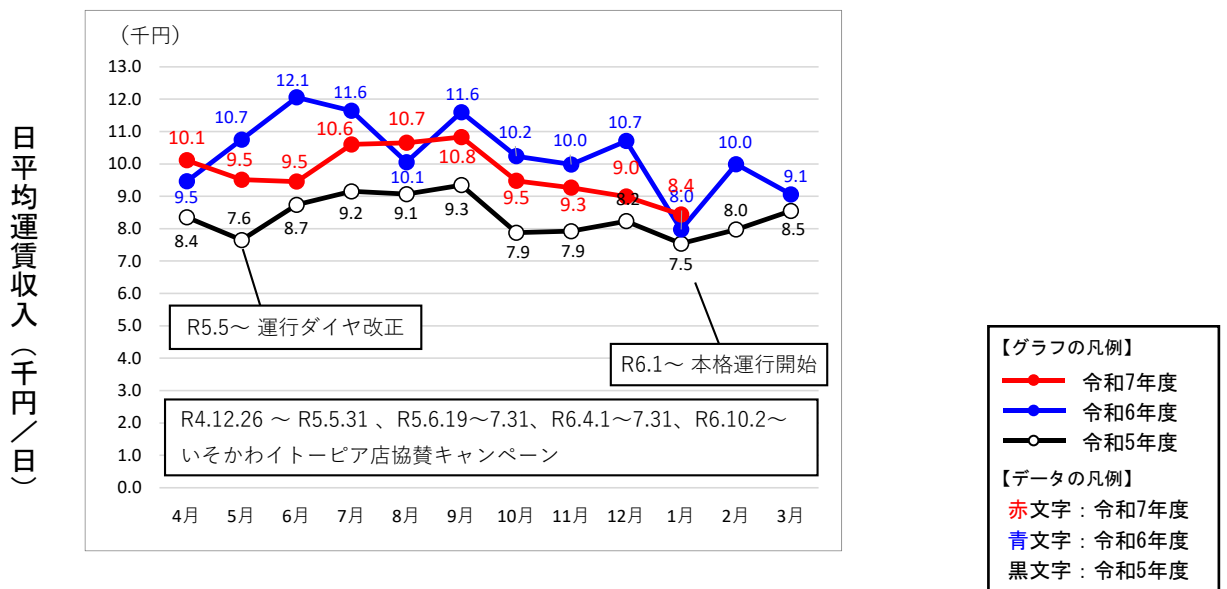
## 6. 鹿ノ台線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、本格運行を開始した令和6年1月以降、地元スーパー協賛のキャンペーン等の影響による増加や季節変動等の影響による減少を繰り返しながら、利用者数を維持している。令和7年4月以降は、5月から8月にかけて増加したが、8月以降は減少傾向にあった。令和8年1月は前月からは減少しているが、前年同月を上回っている。
- ・運賃収入(日平均運賃収入)は、令和7年4月以降は、6月から9月にかけて増加傾向していたが、9月以降は減少傾向にあるが、令和8年1月は前年同月を上回っている。

【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】

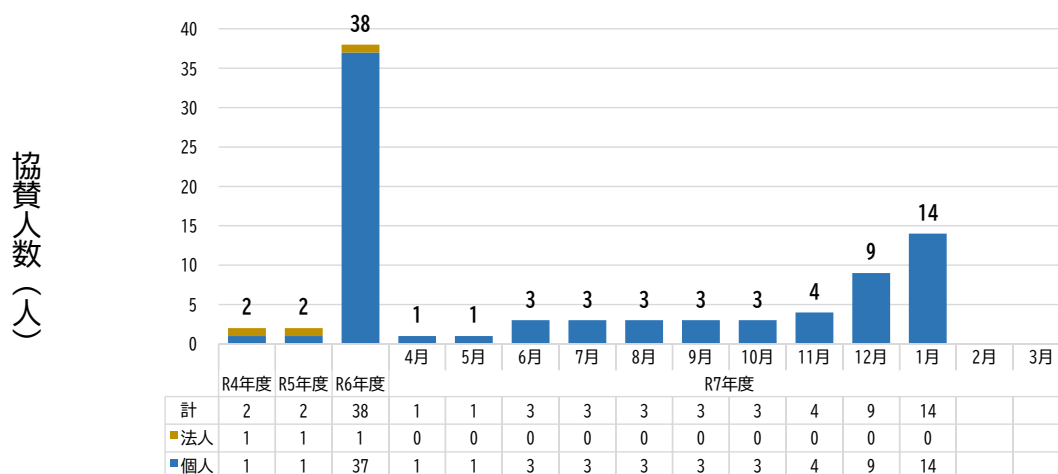


※運賃収入＝現金収入（回数券利用はなし）

## 7. コミバス「たけまる号」サポーター制度の申込状況

- ・生駒市では、地域の足である「たけまる号」を住民や法人の皆様と一緒に支えていく制度として、令和4年4月1日からコミバス「たけまる号」サポーター制度を導入している。個人は1口500円、法人は1口5,000円から申込可能で、応援したい路線に対する協賛口数を指定することができる。サポーター（協賛者）は希望すると市HPやバス車内に名称掲載が可能となる特典がある。
- ・サポーターを増やしていくための取組として、令和5年度に、オンライン申請導入、チラシを作成しバス車内や各公共施設へ配布、広報誌への掲載等を行った。
- ・その結果、令和6年度は協賛人数が38人、協賛金額が計152,000円であり、令和4年度や令和5年度と比べて、大きく増加した。
- ・令和7年度の申込状況は、令和8年1月末時点で協賛人数が計14名（個人14名、法人0名）、協賛金額が計36,500円である。令和7年12月よりオンライン決済機能を実装し、桜ヶ丘線を新たに対象路線に追加したことで、令和7年12月以降は協賛人数と協賛金額が大きく増加した。

【協賛人数・法人数の推移】※R7年度は各月の積み重ね



【協賛金額の推移】※R7年度は各月の積み重ね

